



Photostud

THE SHION STAKES

第10回 紫苑ステークス (GII)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 52,000,000円 21,000,000円 13,000,000円 7,800,000円 5,200,000円
付加賞 938,000円 268,000円 134,000円



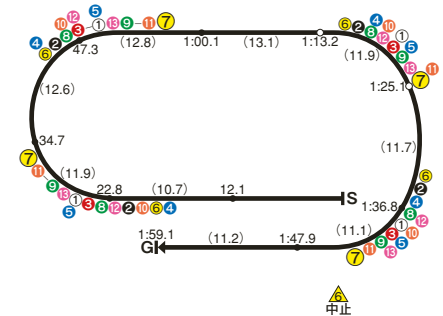
レース映像は
こちらでご覧
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.9.7 中山 晴・良 芝2000m (国際) (指定)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	クリフレッドアスク	牝3	55	西塚洸二	1:59.1	1-1-1-1	34.0	456(+4)	24.9⑦	藤原英昭(栗東)	106
2	⑤	ジョスラン	牝3	55	Cルメール	クビ	5-5-4-5	33.6	470(+6)	4.8②	鹿戸雄一(美浦)	105
3	⑨	ダノンフェアレディ	牝3	55	戸崎圭太	1	3-3-4-3	33.8	482(+10)	6.2④	橋口慎介(栗東)	103
4	⑫	キューティリップ	牝3	55	武藤 雅	½	9-7-8-9	33.6	456(-4)	217.9⑩	戸田博文(美浦)	102
5	④	エストゥベンダ	牝3	55	菅原明良	ハナ	13-12-10-11	33.3	436(-6)	5.4③	高柳瑞樹(美浦)	
6	⑧	サタデーサンライズ	牝3	55	大野拓弥	アタマ	8-9-10-9	33.3	448(+6)	136.5⑩	石坂公一(栗東)	
7	⑩	テリオスラ	牝3	55	鮫島克駿	クビ	4-4-3-3	34.1	492(-4)	16.9⑥	田島俊明(美浦)	
8	①	リンクスティップ	牝3	55	北村友一	1	5-5-6-7	33.9	480(+8)	2.4①	西村真幸(栗東)	
9	⑪	サヴォリンナ	牝3	55	吉田隼人	½	2-2-2-2	34.5	458(+8)	31.2⑨	田中克典(栗東)	
10	⑬	マイスターヴェルク	牝3	55	横山和生	クビ	11-9-8-7	33.9	486(-16)	28.7⑧	勢司和浩(美浦)	
11	③	セイキュート	牝3	55	津村明秀	1	7-7-6-5	34.2	472(+2)	67.7⑩	四位洋文(栗東)	
12	②	ドマーネ	牝3	55	石川裕紀人	1½	10-11-12-12	33.9	444(+8)	90.7⑪	辻野泰之(栗東)	
12	⑥	ロートホルン	牝3	55	横山典弘		12-12-13-13	47.0(-2)	11.8⑤	加藤正弘(美浦)		

単勝⑦2,490円(7[△]※) 複勝⑦440円(7[△]※) ⑤200円(2[△]※) ⑨230円(4[△]※) 枠連④-⑤1,100円(4[△]※)
馬連⑤-⑦5,970円(19[△]※) ワイド⑤-⑦1,720円(19[△]※) ⑦-⑨2,320円(28[△]※) ⑤-⑨800円(7[△]※)
馬単⑦-⑤14,840円(45[△]※) 3連複⑤-⑦-⑨14,260円(43[△]※) 3連単⑦-⑤-⑨141,040円(366[△]※)
5重勝⑤⑥⑦⑦⑦12,905,470円(38票) 対象競走: 阪神10R/中山10R/札幌11R/阪神11R/中山11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
34.7 - 47.3 - 1:00.1 45.9 - 34.0

アラカルト

- ・西塚光二騎手はJRA重賞初勝利
- ・藤原英昭厩師は紫苑S初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算65勝目
- ・ドゥラメンテ産駒はJRA重賞通算29勝目
- ・単勝2,490円は同式別における本競走の最高払戻金額
- ・エストゥベンダの田辺裕信騎手は前日の中山競馬第6競走での落馬負傷のため菅原明良騎手に変更
- ・ロートホルンは競走中に疾病(右後肢跛行)を発症したため最後の直線コースで競走中止
- ・クリフレッドアスク、ジョスラン、ダノンフェアレディは秋華賞(GI)に優先出走できる

ケリフレッドアスク *Kelly Fled Ask*

牝 青鹿毛 2022.4.3生
北海道平取町 株式会社ASK STUD生産
馬主・廣崎利洋氏 栗東・藤原英昭厩舎
馬名意味・人名より+人名より+冠名

ディア-ミミUSA系 F16-g		
ドゥラメンテ 鹿毛 2012	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	アドマイヤグルーヴ 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA エアグルーヴ
ディーブインアスク 鹿毛 2008	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	マーズプリンセス 鹿毛 1997	ディンヒルUSA ディア-ミミUSA

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M3
Hail to Reason S5×M5×M5

INTERVIEW

廣崎利洋氏(馬主)

本当にすばらしい母馬です

私が大切にしているディーブインアスクの8番仔で、彼女の産駒からは4頭目の重賞勝ち馬となりました。本当にすばらしい母馬です。ケリフレッドアスクという馬名は私の友人と彼の奥様の名前から命名したもので、友人もこの活躍をととても喜んでくれています。本馬は私の大切な母馬と友人との縁を繋いでくれている存在とも言えます。秋華賞も楽しみにしています。



H. Ozawa

去年8月にデビュー、4戦目に勝ち上がった本馬はその後、君子蘭賞2着、スイートピーS(3着)を挟んでオークスに出走。緩みのない流れを果敢に先行しながらも大崩れはせず(8着、地方の一端は示した。ひと息入れて臨んだ8月の1勝クラス戦(中京・芝1600)は4着に敗れたが、距離が延び、展開も味方につけたこの日は、デビュー4年目の西塚騎手ともども重賞初制覇を達成。ドゥラメンテのラストクロップで、兄姉に3頭の重賞ウイナーを持つ良血を開花させ、秋華賞の新星に名乗りをあげた。

父ドゥラメンテ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首9戦5勝(日本ダービー^{G1}、皐月賞^{G1}、中山記念^{G2}、ドバイシーマクラシック・首^{G1}2着、宝塚記念^{G1}2着)、最優秀3歳牡馬、17年から供用、21年死亡。23年日本リーディングサイヤー、22年日本2歳リーディングサイヤー

〔代表産駒〕リパティア일랜드(桜花賞^{G1}、オークス^{G1}、秋華賞^{G1})、タイトルホルダー(菊花賞^{G1}、天皇賞(春)^{G1}、宝塚記念^{G1})、スターズオンアース(桜花賞^{G1}、オークス^{G1})、ドゥレツツァ(菊花賞^{G1})、ルガル(スプリンターズS^{G1})、シャパンカラー(NHKマイルC^{G1})、ドゥラエレーデ(ホープフルS^{G1})、ヴァレーデラルナ(JBCレディスクラシック^{Jh}I)、アイコンテラー(JBCレディスクラシック^{Jh}I)、サウンドビバーチェ(阪神牝馬S^{G2})、シュガーくん(青葉賞^{G2})、エネジジコ(青葉賞^{G2})、シングザットソング(フィリーズレビュー^{G2})、ケリフレッドアスク(本馬)、アロヒアリイ(ギョームドルナノ賞・仏^{G2})、ドゥーラ(クイーンS^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母ディーブインアスク

北海道新冠町 川上牧場生産 中央10戦0勝

コロラトゥーレ(14 牝父タイキシャトルUSA)中央51戦5勝(朱雀S、RK B賞)ブリティレディー(15 牝父エンバイアメーカーUSA)中央1戦0勝

ファンタジスト(16 牝父ロードカナロア)中央11戦3勝(京王杯2歳S^{G2}、小倉2歳S^{G2}、セントウルS^{G2}2着、スプリングS^{G2}2着)、地方1戦0勝

ボンバーズ(17 牝父ロードカナロア)中央29戦5勝(北九州記念^{G3}、マレーシアC、紫川特別)

アスクビギニアゲン(19 牝父ハービンジャーGB)中央24戦3勝 ⑩

アスクメークシェア(20 牝父ロードカナロア)中央13戦1勝 ⑩

アスクワントタイム(21 牝父ロードカナロア)中央13戦2勝(小倉2歳S^{G2}、安土城S・L3着) ⑩

ケリフレッドアスク 本馬(22 牝父ドゥラメンテ)中央9戦2勝(紫苑S^{G2}、スイートピーS・L3着) 獲得総賞金72,068,000円

(24 牝父アスクピーターパンGB)

※13、18、23(不受胎)、25(生後直死)

祖母マーズプリンセス

北海道浦河町 中島牧場生産 中央0勝

ディーズメンフィス(04 牝父マヤノトップガン)中央2勝(赤松賞)、地方0勝

ディーブインアスク(08 前出)

ブリリアントアスク(10 牝父ネオユニヴァース)中央4勝(白井特別)

意欲的な逃げで秋華賞への切符を掴む

関東の秋華賞トライアル・紫苑Sの主役と目されたのはリンクスステイッパ。1勝馬ながらきざき賞2着、桜花賞3着、オークスでも5着に食い込んだキタサンブラック産駒が断然の支持を集め、エフフォーリアの全妹ジョスラン、古馬勢を下して1勝クラスを勝ち上がってきたエストウペンダ、ダノンフェアレディがこれに続く勢力図が描かれた。しかし勝利の女神が微笑んだのは7番人気の伏兵ケリフレッドアスク。3月に初勝利を挙げた後は足踏みを重ねていた1勝馬が、秋華賞行きのチケットを掴み取った。

確たる逃げ馬が不在の顔ぶれからスタートを決めて意欲的に飛び出し、最後までしっかりと伸びたケリフレッドアスクが、相手の強襲をクビ差に抑え込み、勝利を手にした。

昨年8月にデビュー、4戦目に勝ち上がった本馬はその後、君子蘭賞2着、スイートピーS(3着)を挟んでオークスに出走。緩みのない流れを果敢に先行しながらも大崩れはせず(8着、地方の一端は示した。ひと息入れて臨んだ8月の1勝クラス戦(中京・芝1600)は4着に敗れたが、距離が延び、展開も味方につけたこの日は、デビュー4年目の西塚騎手ともども重賞初制覇を達成。ドゥラメンテのラストクロップで、兄姉に3頭の重賞ウイナーを持つ良血を開花させ、秋華賞の新星に名乗りをあげた。